



▲公開講座で発表した黒木光太郎さん。

大阪で椎葉の公開講座を開催

2月25日、日本民家集落博物館（大阪府豊中市）の公開講座で、本村民俗芸能博物館職員の黒木光太郎さんが、「椎葉神楽と椎葉型民家～椎葉村の民家で行われる神楽の特徴～」と題して発表を行いました。これは、共同研究事業の一環として開催されたもので、民家で行われる際の神楽の特徴を諸塚村や高千穂町などの事例も紹介しながら発表しました。

また、昨年台風14号災害が椎葉村の神楽に与えた影響についても報告。大阪在住の村出身の方や、椎葉村、椎葉神楽に関心のある方が多数訪れ、講座室は満席だったとのことでした。



▲村長から表彰状を受け取る細山田教諭。

教育論文表彰式

3月9日、村開発センターで平成17年度椎葉村教育論文の表彰式が行われました。これは、村内各小中学校の教職員を対象に、学校教育に関するところで研究した内容を論文として募集し審査したものです。

教育委員会や各学校長が審査した結果、細山田修教諭（小崎小）の「文章表現力を身に付ける学習指導の在り方」～国語科における「書く」学習を生かした実践を通して～が最優秀賞となる村長賞を受賞しました。



▲訪問した村長室で記念撮影する子どもたち。

遠足で村長室を訪問

3月10日、向山児童館と不土野保育所の合同遠足が上椎葉で行われました。この遠足では、両施設の子どもたち15人が村営バスを利用して不土野～上椎葉間をそれぞれ片道200円の料金を支払って往復しました。

また、到着した上椎葉ではAコープ椎葉店でそれぞれ300円分のおやつを購入したほか、役場の村長室を訪問するなど社会体験を行いました。普段は車でしか通らない長い道なのですが、バスからの車窓の眺めに大喜びだったという子どもたち。この素晴らしい社会体験に保護者も喜んでいました。



▲参加した椎小フレンズクラブの皆さん。

青少年スポーツフェスタ

3月11～12日、宮崎市などを会場にUMK青少年スポーツフェスタが開催されました。同フェスタには、本村からバレーボールの椎小フレンズクラブ（椎葉和博監督 11人）と剣道の椎葉少年剣道（椎葉一也監督 17人）など、県内各地のスポーツ少年団に所属する子どもたち2500人が参加。2日間に渡ってスポーツを通じた交流と競技技術の向上を図りました。

参加した椎小フレンズクラブは、初日のふれあいスポーツ教室で、元日本代表のモントリオール五輪金メダリスト、岡本真理子さんから直接指導を受けました。また、2日目には交歓競技として日頃対戦する機会が少ない県内の各チームと試合を行うなど充実した体験ができたようです。

